

サーバー管理基準

Webエンジン対応アプリケーション維持用サーバーの運用管理基準をまとめました。
基本的には、Webサーバー機能のみを管理するようにしてください。

サーバー管理基準を、以下のように致します。

【対象サーバー】

hn51d3

【管理フォルダ】

¥UAP 以下のフォルダ

それ以外は、使用禁止とします。

【フォルダ構成】

```
¥hn51d3¥uap =====
|== bin                // バッチファイル
|== Build              // エンジンのビルドソース
|== DOC                // マニュアル、ドキュメント等
|== users              // ユーザー毎のテンポラリフォルダ
|                       |== qmis
|                       |== light
|                       |== zw
|== webapps            // インストールするアプリケーション
|                       |== qmis
|                       |== light
|                       |== zw
```

users は、テンポラリとして用意いたしますが、あくまで一時ファイルの格納場所という使い方を想定しています。

webapps は、WEBアプリケーションの基準フォルダになり、それ以下のフォルダは、TOMCAT より自動スキャンが行われています。
JSPのソース等のWebアプリケーションに必要なファイル以外（例えばドキュメント等）は、極力置かないようにご注意願います。

【推奨管理方法】

このサーバーのフォルダは、最新のJSPファイルのみを置くようにしてください。
開発サーバーが、別に用意されているとベストです。
また、本番環境のDBサーバーに配置するようなファイルは置くべきではありません。
Webサーバーは、バックアップする必要のない静的なファイルを配置しますので、マスターからコピー運用できる作りがベストです。

このサーバー上で、正式な画面を作成し、OKであれば、CD-Rに焼き付けて本番リリースするという運用形態を想定しています。

【その他】

webapps 以下のフォルダで開発する場合に、JSPファイル等をバックアップする場合は、backup**** で始まるフォルダか、ファイルにしてください。
定期的に、その名称のファイルは、自動的に移動させますので、webapps には常に最新のJSPファイルのみが管理されるように運用いたします。